

事業所名 グループホームふるる

作成日：平成 23年 4月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	NO. 36	転倒の危険性のある利用者への排泄(トイレ)時の対応について、他に方法はないか検討の必要性がある。	転倒に十分注意しながらプライバシー保護に配慮しながら排泄時の介助、見守りを実施する。	今回の取り組みの説明をスタッフにおこない、各自スタッフがどのように思っているか事前にアンケートへ記入してもらう。その後、どのようにしたらプライバシーや転倒を回避できるのか、実践しながら改善をおこなっていく。また運営推進会議や家族会等での意見を聞き、参考にしながら実現に向けて取り組み、年度末に目標達成できていたかをスタッフ全員で話し合う。	12ヶ月
2	NO. 1	管理者、スタッフ間で目標を共有しているが、これまでの事業所の理念を踏まえてホーム独自の理念を検討していく必要がある。	目標達成できるように今後、年度毎に目標を掲げていく。 また、事業所としての理念とは別にホーム独自の理念としての目標を玄関に掲示していく。	今回の取り組みの説明をスタッフにおこない、各自スタッフがどのような目標を持っているか事前にアンケートへ記入してもらった後、全スタッフで話し合い決定し今年度の目標として取り組んでいく。年度末に目標(理念)達成できていたかをスタッフ全員で話し合う。	3ヶ月
3	NO. 40	現在、スタッフと一緒に食事を楽しむことが出来ておらず、今後、場所の確保ができないか検討の必要がある。	スタッフと一緒に食事を楽しむことが出来るよう場所の確保をおこない、家族的雰囲気味わってもらえるよう支援する。	スタッフ全員で、どこにどのようなテーブルを配置したらよいか意見を出し、テーブル購入を検討してもらい実現に向けて話し合っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。